

## 中台資源科技

# Eスクラップ専門新工場

## 月処理1600トン 回収率向上目指す

【台湾・台北＝服部友裕】台湾で照明器具などから水銀をリサイクルする事業を牽引する中台資源科技股份有限公司（兼俊雄総経理）は、2015年2月から廃電子基板などEスクラップの処理を専門に行う第3工場（台湾・桃園市）の稼働を開始した。Eスクラップ処理能力は月間1600トンほど。新工場の稼働でEスクラップ処理能力を向上させ、さらなる資源回収率の向上を目指す方針だ。

## ミックスメタルも取扱い

同社は、台湾最大手の照明器具メーカー、中国電器（チャイナ・エレクトリック）の関連会社。01年5月に設立、02年に新竹市に第1工場を建設した。08年には桃園市内にある環境関連企業専用の工場を建設し、稼働を開始している。親会社である中国電器が製造した蛍光灯などをの使用済み製品を回収し、照明器具リサイクル



稼働を開始した第3工場

台湾全土から回収し、照明器具リサイクル

適切な廃棄処理および水銀やガラス、電子基板などのマテリアルリサイクルを行っている。また、関連する設備の製造・販売なども行う。従業員数は75

の主力工場の第2工場には、高い水銀の回収率を誇るスイス製の水銀回収設備を導入している。敷地面積は7794・69平方メートルの広さ。ISO14001認証を取得済み。桃園市から5年連続で最上級リサイクル施設との評価を受けている。

2月から稼働を開始した第3工場は第2工場に隣接する敷地に建てられた。廃電子基板のリサイクル処理のほか、非鉄金属を中心とした金属リサイクル資源が含まれるミックスメタルの処理も行っている。敷地面積は6569・87平方メートル。主要設備として粗破砕用と微破砕用に60馬力破砕機を各1基備え、選別機なども設置している。廃電子基板を月間1600トン処理することが可能なほか、ミックスメタルは月間20

0トンほどを処理することができるとしている。同社では照明器具などに含まれる電子基板なども、第3工場で適切かつ効率的なリサイクル処理を行うことで、よりハイレベルなリサイクルの実現に向けていく考えだ。